

'21ミス日本「海の日」吉田さくらさん

◆【さくらの休日 第3回】②

ミス日本「海の日」の活動で学んだ「海」の現状・問題・可能性

【海の万博セミナー】

先日、公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所が主催する第一回「海の万博」セミナーの総合司会を務めました

笹川平和財団海洋政策研究所は、2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、2021年度に海の魅力発信を目的として「海の万博」セミナーシリーズを開催します。第一回セミナーは、万博やSDGsをテーマに、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会企画局長の堺井啓公氏や、株式会社三菱総合研究所理事長の小宮山宏氏を招いて講演会と対談が行われました。

今回は「持続可能な海洋」をテーマに、海の魅力発信だけでなく、海の課題解決に向けた議論が中心となり、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」について多様な取り組みを知ることができました。

現在、私が日常的に行っている行動は海洋プラスチックごみ問題解消に向けたマイボトルの持参や、水産エコラベル商品の選択です。今回の「海の万博」セミナーでは、認証水産物を消費者が選択し、購入することで漁業者や養殖業者を支援する仕組みである水産エコラベル認証について、日本での認知度の高まりや幅広い認証商品の展開の観点から説明があり、知識を深めることができました。少しずつ、海を守ろうという思いが日本や世界に広がっていることを実感し、うれしく思いました。

さらに、海洋生物によって取り込まれた炭素「ブルーカーボン」の秘める可能性について学びました。少々難しい内容でしたが、初めてブルーカーボンについて学んだため、必死に手元のペンを走らせました。持続可能な海洋に向けた新たな取り組みなど、多くのことを学ぶことができました。

また、さまざまな取り組みに挑戦している方々の存在を知ることができました。海の魅力を発信するとともに、課題解決策を示すために活動していくことの意義を感じ、ミス日本「海の日」としての今後の活動において「持続可能な海洋に向けた活動を学び広める」という目標ができました。

今後は「海のSociety5.0」や「GHG排出ネットゼロ」、「食」などをテーマとしたセミナーが予定されています。私は記念すべき第一回「海の万博」セミナーの総合司会を務めたことで、海洋について知識を深めることができたのと同時に、まだまだ知らないことが多く、十分理解できない部分は反省し、さらに知識を深めたいと決意しました。

-Society5.0-

Society5.0は、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新しい社会を目指すもので、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」と内閣府の第5期科学技術基本計画で定義されている。Society5.0ではAIやロボットが、人が行っていた作業や調整を代行・支援することで、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができるようになり、一人一人の人間が中心となる社会ということ

-SDGs-

SDGsは、よりよい世界を目指す国際目標で、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のこと。17のゴール（目標）、169のターゲットから構成され、14のゴールは「海の豊かさを守ろう」

-ブルーカーボン-

海洋生態系に蓄積される炭素のことで、浅海に生息する海草や海藻、マングローブなどの植物が光合成によって、大気中のCO₂や陸から海に流れ込む炭素を取り込んだものをブルーカーボンという。また、こうした作用をする生態系をブルーカーボン生態系といい、世界各国で地球温暖化への対応が求められる中、ブルーカーボン生態系のCO₂吸収が注目されている

-GHG-

GHGは温室効果ガス（Greenhouse Gas）の略称で、主な温室効果ガスとして二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、フロンガスなどがある

「海員だより」